



令和7年2月10日

救急出場件数が3年連続で過去最多を更新

～ 令和6年中における救急出場の傾向 ～

令和6年中の東京消防庁救急隊の出場件数は935,162件（速報値）で、令和4年から3年連続で過去最多を更新しました。

救急出場件数は、例年、夏季及び冬季に多い傾向にありますが、令和6年は同時期の出場が顕著に増加し、日別救急出場件数の歴代上位10日間のうち、8日間が令和6年中の夏季、冬季に更新されました。

また、令和6年中における救急出場の傾向を10年前と比較すると、特に75歳以上の後期高齢者の搬送が他の年齢層と比較して顕著に増加しました。

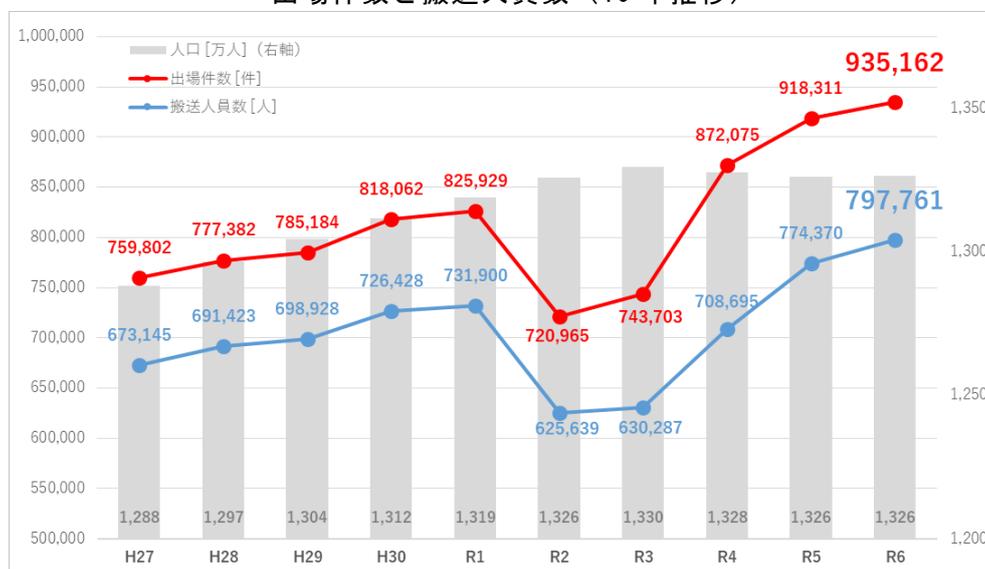
救急車を呼ぶか判断に迷うような場合には、「東京版救急受診ガイド」や「東京消防庁救急相談センター」を上手に活用してください。

ただし、緊急性がある場合には、ためらわずに救急車を呼んでください。

1 救急出場の傾向（令和6年中の数値はすべて速報値）

- (1) 令和6年中の東京消防庁救急隊の出場件数及び搬送人員数はともに、過去最多を更新しました。出場件数と搬送人員は、近年、増加傾向にあり、令和2、3年に新型コロナウイルスの影響等により一時的に減少したものの、その後、3年連続で過去最多件数を更新しています。10年前である平成27年から令和6年までの東京都総人口と救急搬送人員の増加率を比較すると、東京都総人口が3.0%増（+約38万3千人）に対し、救急搬送人員は18.5%増（+約12万5千人）と大きく上回っています。

出場件数と搬送人員数（10年推移）



(2) 月別の救急出場件数は、例年、夏季（7月、8月）及び冬季（1月、12月）に多い傾向にありますが、令和6年は同時期の出場が顕著に増加しました。

また、日別救急出場件数の歴代上位10日間のうち、8日間は令和6年中の夏季、冬季に更新されました。

月別出場件数（R6年中）



日別出場件数（歴代上位10日）

順位	年月日	出場件数
1	2018年 7月23日（月）	3,382件
2	2024年 7月 8日（月）	3,372件
3	2024年12月28日（土）	3,333件
4	2024年12月27日（金）	3,296件
5	2024年 7月29日（月）	3,284件
6	2022年 7月 1日（金）	3,274件
7	2024年12月29日（日）	3,253件
8	2024年12月21日（土）	3,220件
9	2024年12月23日（月）	3,216件
10	2024年 7月22日（月）	3,214件

- (3) 救急出場件数を事故種別ごとでみると、急病と一般負傷が全体の約85%を占めています。令和6年中の救急出場件数の月別推移を事故種別ごとでみると、急病と一般負傷が(2)と同じく夏季（7月、8月）及び冬季（1月、12月）に多い傾向にあります。

急病では「発熱」「腹痛」「歩行困難」、一般負傷では「顔面・頭部や四肢の怪我」が多くみられます。

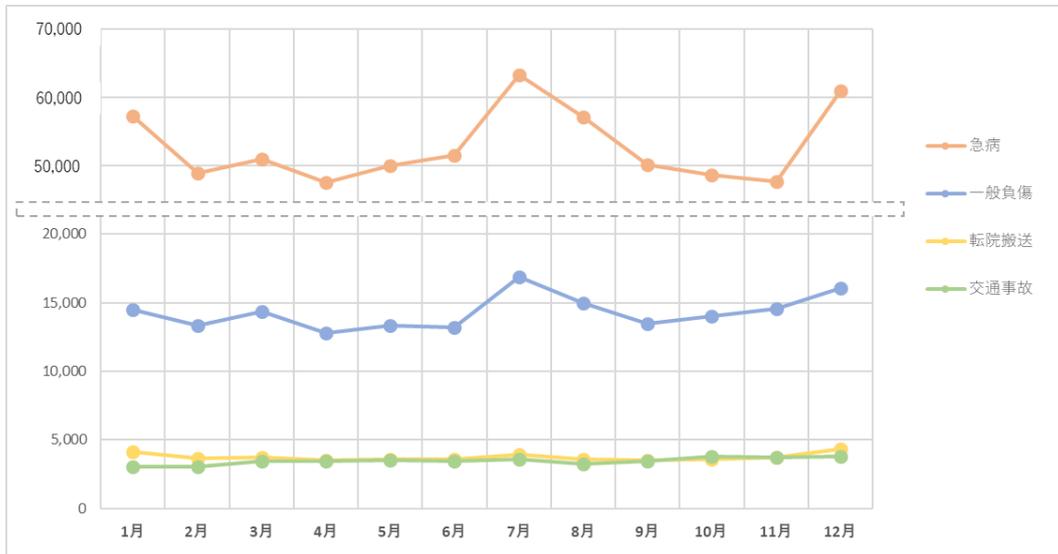
また、夏季には「熱中症」による救急搬送が増加する傾向にあります。

なお、令和6年6月から9月までの熱中症による搬送は、7,993人で、これまで最多であった平成30年同時期の7,960人を上回り、過去最多となりました。

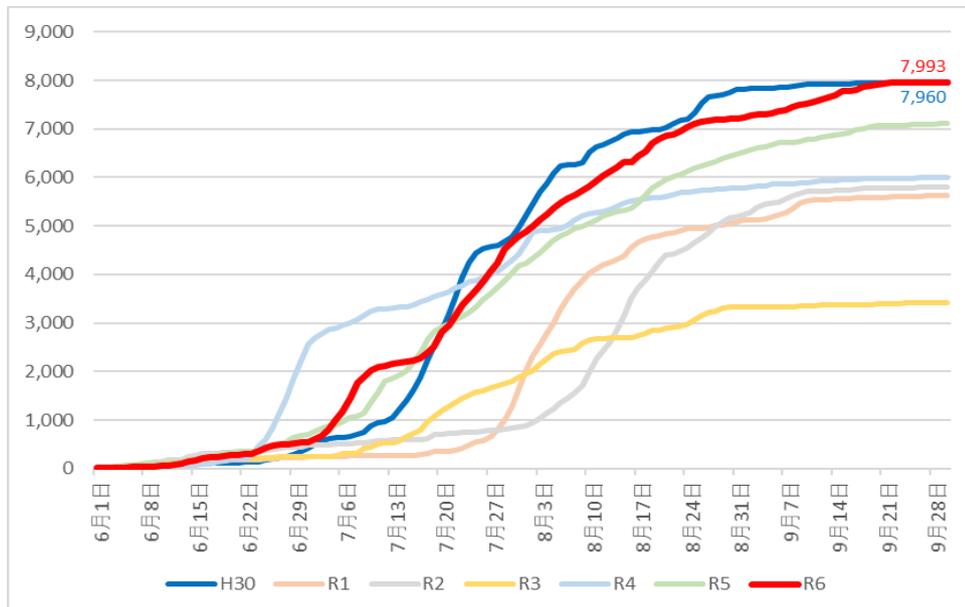
事故種別ごとの出場件数（R6 構成比）



事故種別ごとの出場件数（R6 月別推移）



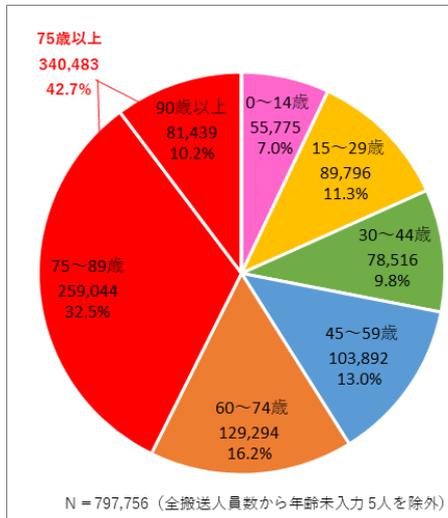
熱中症搬送人員（6-9月）



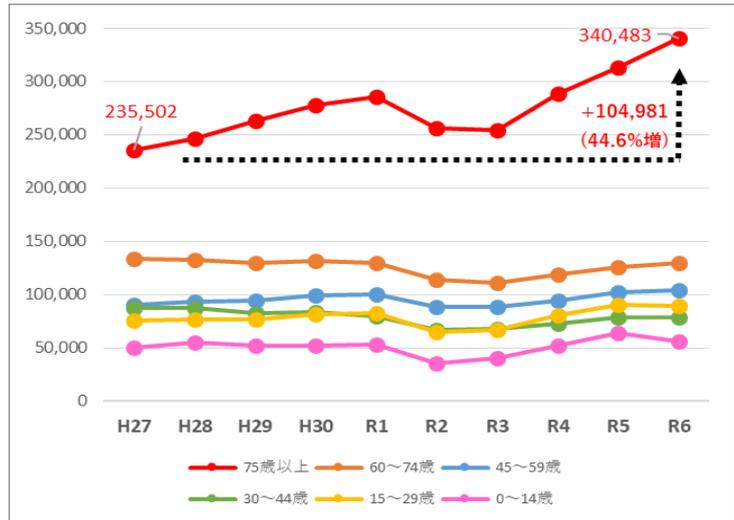
(4) 令和6年中の搬送人員を年代別に見ると、後期高齢者である75歳以上の搬送人員が340,483人、全体の42.7%を占めています。10年前と比較して約10万人(44.6%)増加しており、他の年齢層と比較して著しく増加しています。

今後も高齢化は進展することから救急出場件数がさらに増加することが予想されます。

年代別搬送人員数 (R6 構成比)



年代別搬送人員数 (10年推移)



2 都民の皆様へ

救急車を呼ぶか判断に迷うような場合には、「東京版救急受診ガイド」や「東京消防庁救急相談センター」を上手に活用してください。

ただし、緊急性がある場合には、ためらわずに救急車を呼んでください。

- 救急車を呼ぶか迷った際には、スマートフォン等で「東京版救急受診ガイド」を検索してください。

「東京版救急受診ガイド」は、医学的見地(※)を元に作成されており、主な症状に応じて救急車を呼ぶべきかの緊急度判断に役立つWEBページです。

また、病院を探したい場合は、救急受診ガイド内の病院情報サイトから受診可能な病院を検索することもできます。

詳細は以下のホームページをご覧ください。

・東京版救急受診ガイド【東京消防庁】

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html>

(※) 日本救急医学会監修によって東京都医師会救急委員会救急相談センター運用部会が作成し、東京消防庁が編集・発行しています。

- それでも判断に迷う場合には、「東京消防庁救急相談センター（#7119）」にお電話ください。直接看護師と病気やけがの緊急度について相談をしたり、受診可能な病院を知ることができます。

また、相談内容から緊急性があれば119番へつなぐことも可能です。

詳細は以下のホームページをご覧ください。

・東京消防庁救急相談センター【東京消防庁】

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu_adv/soudan-center.html

問合せ先

東京消防庁 (代)	電話 3212—2111
救急管理課救急情報係	内線 4465
救急医務課救急相談係	内線 4546
広報課報道係	内線 2345